

日本動物看護学会第 44 回例会 関東地区第 3 回例会開催報告

- 13:20 ～ 13:30 開会の挨拶
13:30 ～ 14:30 川村 和美先生 帝京科学大学 特任助教
「動物看護師ができるリハビリテーションの手技と評価について」
14:45 ～ 15:45 藤原 巧先生 AC プラザ刈谷動物病院 市川橋病院 動物看護師チーフ
「リハビリテーションの実際」
15:45 ～ 15:50 閉会の挨拶

2017年2月12日(日)に帝京科学大学千住キャンパス本館2F 共生実習室にて「日本動物看護学会第44回例会 関東地区第3回例会」を開催いたしました。

参加人数は29名(うち1名:本学会の会員、28名:学生)

本会のテーマを「動物のリハビリテーション」と題し、13:30から14:30まで川村和美先生(帝京科学大学 特任助教)に、「動物看護師ができるリハビリテーションの手技と評価」についてご講演頂きました。

14:45から15:45まで藤原巧先生(AC プラザ刈谷動物病院 市川橋病院 動物看護師チーフ)に、「リハビリテーションの実際」についてご講演頂きました。

大学と現場でのリハビリテーションの現状や実務などについて詳しくご説明頂き、参加者も熱心に聴講されていました。また質疑応答では、講師同士でも動物へのアプローチの仕方など議論されていました。



桜井富士朗理事長よりご挨拶



川村和美先生



藤原巧先生



会場の様子

この度も補助金を交付して頂き、誠にありがとうございました。会場費は学生への教育効果が認められ無料で借りることができました。桜井理事長をはじめ、関係者の皆さまのご協力のおかげで無事に開催できたことを深く感謝申し上げます。今後ともご支援の程、よろしくお願い申し上げます。